

第1回串間市農業委員会総会

日 時 平成29年7月20日(木) 開始10:50 終了12:10

会 場 串間市役所3階大会議室

出席農業委員 15名

1番(会長)	川崎 善昭	7番	武田 建次	12番	山崎 昭二
2番(会長代理)	井手 重則	8番	武田 昭一	13番	黒木 一則
3番	内田 政秀	9番	谷口 利則	14番	寺迫 邦廣
5番	瀬治山満弘	10番	菊永 宏親	15番	原田 俊一
6番	奥村千扶子	11番	島田さつき	16番	廣見 安彦

※議事録発言者議席番号については、決定議席番号で表示

欠席農業委員 0名

議事録署名委員 8番 武田 昭一 11番 島田 さつき

議事日程

第1	議案第1号	農業委員会会長の互選について
第2	議案第2号	農業委員会会長代理の互選について
第3	議案第3号	各地区会長及び副地区会長の互選と議席番号の決定について
第4	議案第4号	農地利用最適化推進委員の決定について
第5	議案第5号	農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域の決定について
第6	議案第6号	専門部会長及び副部会長の互選について

出席事務局	5名	事務局長 吉国 保信	次長 河野 あずさ	
		調整係長 酒井 尋	主任技師 古屋 雅史	主事 川畑 裕

事務局長

本日の進行を務めさせていただきます、農業委員会事務局長の吉国でございます。

それでは、ただいまから第1回串間市農業委員会総会を開催いたします。第1回総会にあたり、串間市長野辺修光がご挨拶申し上げます。

串間市長

串間市農業委員会の第1回農業委員会総会が開催されるにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

新農業委員の皆様方におかれましては、日頃より本市の農業振興はもとより、市政発展にご尽力を賜り、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

皆様ご案内のとおり、近年の農業・農村を取り巻く環境は、少子・高齢化の進展による社会的変化により、農村集落における担い手不足や耕作放棄地の増加、集落機能の低下等が懸念されております。

国におきましては、ベルギーで行われた欧州連合との首脳協議において、経済連携協定交渉の大枠での合意がなされたところであります。コメの関税削減・撤廃等からの「除外」をはじめ、関税割合やセーフティーガードなどの有効な措置を獲得したようではありますが、関税で一定の譲歩を余儀なくされた乳製品等の品目もあることから、農業経営者が希望を持ち、経営を継続・継承できるよう、体質強化や経営安定対策、輸出環境の整備等が重要になるものと考えてところであります。

また、本市の第一次産業の振興につきましても、6次産業化の推進や地域資源の活用によるブランド創出として、「くしま農産物次世代オリジナルブランド創出事業」を昨年度より創設し、国の地理的表示認証制度を取り込みながら、主要品目である「ヤマダイかんしょ」や「黒瀬ブリ」のさらなるブランディングに繋がる取組みを展開しているところであります。

今日は、第23期農業委員会の初めての総会でございますが、農業委員会法改正後の新体制への始動でもあります。国は農業委員会組織・制度改革として、農業・農村の所得倍増（アベノミクス）を図るため、全国の農業委員会に対して、担い手への農地集積率を80%以上、耕作放棄地率を1%未満とする目標を設定したところでありますが、この目標達成のためには、新たに設置されました「農地利用最適化推進委員」と農業委員の皆さんが、連携した活動を行うことが重要であり、行政といたしましても、農業委員会との情報共有や一体的な活動支援を行いながら、本市の農業振興に繋がる取組みを、力強く展開してまいりたいと考えているところであります。農業委員の皆さんのさらなるお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、3年間の任期において、本市の農業振興と農地利用の最適化業務にご理解・ご協力を賜ります

串間市長

とともに、第２３期農業委員の皆様方の今期益々のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。今後どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長

ありがとうございました。

野辺市長は、次の公務がございますのでここで退席されます。

（ 市長 退席 ）

事務局長

本日は、市長任命後の最初の総会でございます。議事に入ります前に、まず、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

（ 事務局職員５名 自己紹介 ）

事務局長

皆さん、よろしくお願いします。

それでは、農業委員の皆様からも一言ずつご紹介をお願いしたいと思います。お座りの若い議席順にお願いいたします。

（ 農業委員１５名 自己紹介 ）

事務局長

ありがとうございました。

それでは、総会に入りたいと思いますが、串間市農業委員会規則第７条に「会長は総会の議長となり、議事を整理する」とありますが、会長が選出されるまでの間、慣例によりまして出席委員の年長委員が臨時議長になって頂いているようでございますが、そのように進めることにご異議ございませんか。

（ 異議なしの声 ）

事務局長

異議なしということですので、そのようにさせていただきます。

それでは、出席委員代表をしまして、奥村千扶子委員をお願いしたいと思います。奥村千扶子委員よろしく

事務局長	<p>お願いします。</p> <p>(6 番委員 議長席へ移動)</p>
臨時議長(6 番)	<p>それでは、ただいまご指名を受けましたので、会長が決まるまでの間、臨時議長として進めさせていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>第 1 回農業委員会総会の出席委員は 1 5 名でございます。農業委員会等に関する法律第 2 7 条第 3 項の規定により、過半数以上の委員の出席がありますので、総会が成立していることを報告いたします。</p>
臨時議長(6 番)	<p>それでは、総会次第に従い議事を進めてまいります。議事の進行上、仮議席を指定いたします。仮議席はただいまの着席されている議席を指定いたします。</p>
臨時議長(6 番)	<p>議事録署名委員の指名</p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、武田昭一 委員、 島田さつき 委員にお願いします。</p> <p>本日の議案は、議案第 1 号から第 6 号まででございますので、早速議事に入りたいと思います。</p>
臨時議長(6 番)	<p>議案第 1 号：農業委員会会長の互選について</p> <p>議案第 1 号、農業委員会会長の互選について議案とします。</p> <p>会長の互選につきましては、農業委員会等に関する法律第 5 条第 1 項に「会長は委員が互選した者をもって充てる」と規定されています。</p> <p>互選の方法といたしましては、</p> <p>①ひとつめは、立候補を考えておられる方の表明による選挙</p> <p>②ふたつめは、選考委員会を設置し、選考委員会において会長に充てるべき者を推薦する方法がとられてきております。今回はいかが取り計らいましょうか。皆様のご意見をお願いします。</p>

3 番	方法としては立候補制がいいと思います。
臨時議長(6 番)	他に意見はありませんか。皆さんよろしいでしょうか。
	(その他意見なし)
臨時議長(6 番)	ただいま立候補による互選が提案されましたが、それにご異議ありませんか。
	(異議なしの声)
臨時議長(6 番)	異議なしという事でありますので、立候補制として進めたいと思います。 立候補予定者は、事務局長のところに立候補届出書がございますので、11時3分(現時点から5分後)までに手続きをお願いします。 暫時休憩いたします。
	(会長立候補者 受付中) (川崎善昭委員 退席)
臨時議長(6 番)	休憩前に引き続き会議を開きます。 ただいま、立候補の受付が終了いたしました。中千野地区の川崎善昭委員、1名が立候補されました。 会長の決定については、立候補者1名でありますので、地方自治法第118条第3項を準用し、委員全員の同意をもって決定します。 それではお諮りいたします。川崎善昭委員を会長にすることに、賛成する方の挙手をお願いします。
	(川崎善昭委員を除く全委員の挙手あり)
臨時議長(6 番)	ありがとうございます。 委員全員の挙手を確認しましたので、第23期串間市農業委員会会長は川崎善昭委員に決定します。

臨時議長（6 番）	<p>暫時休憩いたします。</p> <p>（ 川崎善昭委員 入室 ）</p>
臨時議長（6 番）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それでは、会長も決まりましたので、私の臨時議長の座を新会長へ交代いたします。委員各位のご協力を得まして、臨時議長の大役を無事終えることができました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>（ 議長交代・新会長議長席へ移動 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>一言ご挨拶申し上げたいと思います。ただいま、委員の皆さんの同意を得まして、会長として就任することができました。誠にありがとうございました。先ほど市長からの挨拶にもありましたとおり、農業委員会法が平成28年度に改正されまして、これまで取り組んできました耕作放棄地対策や担い手への農地集積等が、法令業務となりましたので、これを進めるため、農地利用最適化推進委員会を設置することになり、農業委員と農地利用最適化推進委員会が連携して業務に当たる新体制となります。これまで私も3期農業委員をさせていただき、その間勉強させていただきました。また、会長職を2期させていただきましたが、今回立候補させていただいて、皆さんのご協力をいただきながら、串間市の農業振興に少しでも寄与できればと思っていますので、皆さんのご協力・ご支援をお願いして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>議案第2号：農業委員会会長代理の互選について</p> <p>それでは、議事に戻ります。</p> <p>次に、議案第2号農業委員会会長代理の互選となっております。</p> <p>会長代理につきましては、農業委員会等に関する法律第5条第5項に「会長が欠けた時、または事故があるときは、委員が互選した者がその職務を代理する」と規定されていますので、会長代理の互選を議題といたします。</p>

議長（会長）	<p>会長代理の互選方法につきましても、先程の会長の互選同様、</p> <p>①ひとつめは、立候補を考えておられる方の表明による選挙</p> <p>②ふたつめは、選考委員会を設置し、選考委員会において会長代理に充てるべき者を推薦する方法がとられてきております。今回はいかが取り計らいましょうか。皆様のご意見をお願いします。</p>
3 番	<p>こちらについても、方法は立候補制がいいと思います。</p>
議長（会長）	<p>ただいま立候補による互選が提案されましたが、それにご異議ありませんか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしという事ですので、立候補制として進めたいと思います。</p> <p>立候補予定者は、事務局長のところに立候補届出書がございますので、11時12分（現時点から5分後）までに手続きをお願いします。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>（ 会長代理立候補者 受付中 ）</p> <p>（ 井手重則委員 退席 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>ただいま立候補の受付を終了いたしました。三ヶ平地区の井手重則委員、1名が立候補されました。</p> <p>会長代理の決定については、立候補者1名でありますので、地方自治法第118条第3項を準用し、委員全員の同意をもって決定します。</p> <p>それではお諮りいたします。井手重則委員を会長代理にすることに、賛成の方の挙手をお願いします。</p> <p>（ 井手重則委員を除く全委員の挙手あり ）</p>
議長（会長）	<p>ありがとうございます。</p>

議長（会長）	<p>委員全員の挙手を確認しましたので、第２３期串間市農業委員会会長代理は井手重則委員に決定します。暫時休憩いたします。</p> <p>（ 井手重則委員 入室 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それではここで、新会長代理から挨拶をお願いしたいと思います。</p>
２番（会長代理）	<p>会長代理をもう１期、行うことになりました。前は川崎会長の下で３年間勉強させていただきました。皆さん方のご期待に添うように、会長をバックアップしながら努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>（ 井手会長代理 会長代理席へ移動 ）</p>
議長（会長）	<p>議案第３号：各地区会長及び副地区会長の互選と議席番号の決定について</p> <p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>次に議案第３号、各地区会長及び副地区会長の互選と、議席番号の決定について議題といたします。</p> <p>まず、地区会の委員の構成については、串間市農業委員会規則第２０条第２項において、「会長が指名する」となっています。そのため、先ほど事務局が配布しました資料のとおり、各地区会の構成を指名しますので、地区会長及び副地区会長の互選をお願いします。</p> <p>また、議席の決定については、串間市農業委員会規則第１０条に「市長が委員を任命した後、最初に行われる総会において、議長が定める」となっていますが、詳しい説明について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第３号、地区会長及び副地区会長の互選と議席番号の決定についてご説明いたします。</p>

事務局

今回の提案理由につきましては、串間市農業委員会規則第20条第3項に基づきまして、地区会長及び副地区会長を置き、その会長等を地区会で互選していただくため提案するものでございます。併せまして、議席番号の決定もお願いします。

まず、串間市農業委員会規則第20条第1項におきまして、各地区会を置くとなっております。この規則に基づきまして、各地区会を設置しますが、まず、内容につきましては、農地等の利用の最適化業務である遊休農地の発生防止・解消、担い手への農地集積・集約化、新規参入の促進の3項目が必須業務となりましたので、この業務について各地区で協議を行いながら、取組んでいただきたいと思います。

まず、地区会の指定につきましては、基本的に委員の居住地区を優先に、会長が所属する地区会へ指定を行ったところでございます。福島地区会が5名（内田政秀委員・瀬治山満弘委員・奥村千扶子委員・武田建次委員・武田昭一委員）、大東地区会4名（谷口利則委員・菊永宏親委員・島田さつき委員・井手重則会長代理）、本城地区会3名（山崎昭二委員・黒木一則委員・川崎善昭会長）、都井地区会1名（寺迫邦廣委員）、市木地区会2名（原田俊一委員・廣見安彦委員）の合計15名で指名されましたので、各地区会において地区会長及び副地区会長を互選して下さい。

次に議席番号について、慣例で申し上げますと、議席番号1番会長、2番会長代理、3番福島地区会長、5番福島副地区会長、6番から8番の議席は福島地区会長等選出後、残りの3名で決めて下さい。続きまして、議席番号9番大東地区会長、10番大東地区副地区会長、11番は大東地区会に所属する会長代理が2番で指定されていますので、残りの1名がこちらの議席となります。つづきまして、議席番号12番本城地区会長、13番本城副地区会長、14番都井地区会長、15番市木地区会長、最後16番市木副地区会長となりますので、各地区で協議をお願いします。

議長（会長）

説明は以上のとおりであります。ただいまの説明に関して質疑があれば出してほしいと思います。

（なしの声）

議長（会長）

それでは、質疑もないようですので、各地区に分かれて地区会長及び副地区会長の互選、並びに議席番号について協議して下さい。議席については、各地区で協議した番号を優先し決定します。それでは、各地区に分かれて慎重審議をお願いします。

協議のため暫時休憩します。

（地区会に分かれ地区会長及び副地区会長互選及び議席番号協議中）

（地区会で決定した議席番号順に着席）

議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それでは、各地区の互選等の結果を事務局に報告させます。</p>
事務局	<p>それでは互選等の結果を報告します。</p> <p>まず、福島地区会長が内田政秀委員、議席番号が３番になります。同じく副地区会長が瀬治山満弘委員、議席番号５番、議席番号６番が奥村千扶子委員、７番が武田建次委員、８番が武田昭一委員です。</p> <p>次に、大東地区会長は谷口利則委員で議席番号９番、同じく副地区会長が菊永宏親委員で議席番号１０番、１１番が島田さつき委員です。</p> <p>次に、本城地区会長は山崎昭二委員で議席番号１２番、同じく副地区会長が黒木一則委員で議席番号１３番です。</p> <p>次に、都井地区会長が寺迫邦廣委員で議席番号１４番です。</p> <p>最後に、市木地区会長が原田俊一委員で議席番号１５番、同じく副地区会長が廣見安彦委員で議席番号１６番となりました。以上報告します。</p>
議長（会長）	<p>それでは議案第３号、各地区会長及び副地区会長の互選と議席番号の決定について、事務局から報告のあったとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議ないということですので、議案第３号は報告のとおり決定いたします。</p>
議長（会長）	<p>議案第４号：農地利用最適化推進委員の決定について</p> <p>次に議案第４号、農地利用最適化推進委員の決定について審議いたします。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第４号、農地利用最適化推進委員の決定についてご提案いたします。</p> <p>提案理由につきましては、農業委員会等に関する法律第１７条第１項の規定によりまして、串間市農地利用最適化推進委員を委嘱するため、提案するものでございます。</p> <p>提案内容といたしましては、今回、農地利用最適化推進委員を委嘱するに当たり、平成２９年２月１６日から３月１７日に募集を行った結果、定数１５名に対して１６名の推薦及び応募があったところでございます。</p>

事務局

こちらは、串間市農地利用最適化推進委員の推薦の求め及び募集に関する要綱第2条により、担当区域の定数に基づき決定をお願いするものでございます。また、農地利用最適化推進委員の任期につきましては、農業委員会等に関する法律第20条において「推進委員は、委員の任期満了の日まで在任する」となっていますが、委嘱を行う始期は農業委員会で決定することになり、各市町村農業委員会で任期の期間が異なります。しかし、当委員会の方針といたしましては、農業委員と農地利用最適化推進委員は連携し、2人1組の体制で担当区域の業務に当たるべきであると考えていますので、今回の推進委員の任期は、農業委員と同じく平成29年7月20日から平成32年7月19日の3年間で提案します。

次に、農地利用最適化推進委員の候補者について説明します。今回の推進委員の定数については、串間市農地利用最適化推進委員の推薦の求め及び募集に関する要綱第2条に基づき、福島地区3名、北方地区2名、大東地区4名、本城地区3名、都井地区1名、市木地区2名でございます。先ほど説明しました1カ月間の募集に対して、福島・北方・大東・市木地区については、定数に対して同数の応募・推薦でありましたが、本城地区については定数3名に対して候補者が4名、都井地区は定数1名に対して候補者が2名となっています。農業委員及び農地利用最適化推進委員の選定方法は、公平性・透明性を確保した選出を行うこととされており、本市では「串間市農業委員会委員候補者等選考委員会」を設置し、平成29年3月27日に両委員に関する選考委員会が開催されたところです。その実施された選考結果が通知されましたが、講評内容としては、「農地利用最適化推進委員は、農地や農業者及び地域住民への調査・調整を行うため、主として現場活動を行うことが必須となっており、各地域の状況を把握する者を委嘱することが必須であり、今回の各候補者はともに地域に精通する農業者であるため、適任であると判断しているが、今後の農地等の利用の最適化業務を十分に遂行でき、また、農地中間管理事業の推進等が円滑に行えるような候補者選出に努めていただきたい」と講評されています。今回の農地利用最適化推進委員につきましては、農業委員会が候補者の決定と委嘱を行うこととなりますので、農地利用最適化推進委員15名の決定について、皆さんのご審議をお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。農地利用最適化推進委員の選考委員会の講評の説明もありましたが、本城地区と都井地区が定数を上回る候補者がいるということで、各地区の審議をお願いしたいと思いますので、その審議のため暫時休憩します。本城地区委員会と都井地区委員会については、説明のあった資料に基づき審議いただいて、後ほど報告をお願いします。

暫時休憩します。

（ 本城及び都井地区委員会協議中 ）

議長（会長）

休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまから、本城地区委員会と都井地区委員会の審議結果の報告をお願いします。

議長（会長）	まず、本城地区委員会から報告をお願いします。
1 2 番	本城地区の意見といたしましては、串間市農業委員会委員候補者等選考委員会の選考結果の通知にあるように、農地利用の最適化業務を行うためには、農地や農業者及び地域住民に精通する、地元候補者である3名が適任であると考えます。
議長（会長）	次に、都井地区委員会からの審議結果の報告をお願いします。
1 4 番	都井地区の意見といたしましては、2名の地元候補者がおりますけれども、どの地域でも同じですが、都井地区の課題であります、遊休農地の解消と担い手への農地集積を図るために、今後非常に地域の状況に詳しい人が必要になってくるということでもありますので、都井地区農用地利用改善団体が推薦する候補者が適任であるということで、意見させていただきたいと思います。
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>農業委員会等に関する法律第17条第2項並びに、串間市農地利用最適化推進委員の推薦の求め及び募集に関する要綱第2条に基づく、区域ごとの農地利用最適化推進委員として、</p> <p>定数3人の「福島地区」は、桂原地区の川野昭広さん、木代地区の黒木松吾さん、笠祇地区の鈴木信さん</p> <p>定数2人の「北方地区」は、西下弓田地区の西正和さん、田渕地区の牧野宣英さん</p> <p>定数4人の「大東地区」は、田ノ野地区の堀口宗幸さん、長野地区の野邊敏郎さん、大重野地区の清本良夫さん、市ノ瀬3区地区の森幸壽さん</p> <p>定数3人の「本城地区」は、上千野地区の蓑輪正弘さん、上南地区の中津留厚さん、道場地区の森本好昭さん</p> <p>定数1人の「都井地区」は、宇戸地区の上村眞司さん</p> <p>定数2人の「市木地区」は、上石波地区の門内武さん、海北地区の橋口勝彦さん</p> <p>合計15名を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	異議なしということですので、串間市農地利用最適化推進委員は先ほど読み上げました15名に決定します。また、本日午後1時より農地利用最適化推進委員の委嘱交付式を行いますので、委員の皆さんは出席をお願いします。

議長（会長）	いします。
議長（会長）	<p>議案第５号：農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域の決定について</p> <p>次に議案第５号、農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域の決定について議案とします。まず、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第５号、農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域の決定についてご説明いたします。</p> <p>今回の提案理由につきまして、串間市農業委員会規則第２０条第１項及び農業委員会等に関する法律第１７条第２項にもとづきまして、農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域を定めるものでございます。</p> <p>次に提案内容といたしましては、両委員が連携した活動を行っていただくということが前提になっておりますことから、２人１組体制で「農地等の利用の最適化の推進」を図っていただくため、同一の担当区域とすることでご提案いたします。担当区域といたしましては、エリアごとに区分けを行いましたので、その区域を同じく担当する農業委員及び農地利用最適化推進委員毎の担当区域（案）を提案いたします。皆様のご審議をお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。それでは議案第５号、農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域を、事務局の提案どおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第５号、農業委員及び農地利用最適化推進委員の担当区域を決定いたします。</p> <p>暫時休憩します。</p>
議長（会長）	<p>議案第６号：専門部会長及び副部会長の互選について</p> <p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p>

議長（会長）

議案第 6 号、専門部会長及び副部会長の互選についてであります。串間市農業委員会規則第 19 条第 1 項に、委員会に 3 つの専門部会を置き、同条第 2 項に「専門部会の委員の構成は会長が指名する」とありますので、ただいま配布しました資料のとおり、3 部会に所属する委員を指名いたします。

それでは、各専門部会の説明を含め事務局の説明を求めます。

事務局

議案第 6 号、専門部会長及び副部会長の互選についてご説明いたします。

これまで、農業委員会に設置されていましては、農政・特産・畜産部会の 3 部会がございましたが、今回の農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農地等の利用の最適化の促進ということで、各市町村の農業委員会へ「遊休農地率 1 %未満、担い手への農地集積・集約化を 80 %以上」という目標が掲げられている中、本市の遊休農地率は約 2.5 %、担い手への農地集積率が約 34 %となっています。今後、目標を達成していくためにはどうすればいいのかということで、これまであった部会を廃止して、串間市農業委員会規則第 19 条第 1 項に基づき「農地集積対策部会・遊休農地解消対策部会・農業委員会業務対策部会」の 3 部会を新たに設置するものでございます。

この 3 部会の共通の活動といたしましては、農業委員会等に関する法律第 7 条に規定されている「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を作成することになりますが、現在から 3 年後と 6 年後の遊休農地解消や農地集積等に関する目標値や活動計画を盛り込み策定することになります。策定の予定としましては、8 月と 9 月に各部会で協議を行い、最終的に総会で決定していただく予定でございます。

次に、部会で指針内容を検討する理由につきましては、ひとつめが農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆さんが実際に活動する内容を盛り込みたいこと、ふたつめに全体で協議するのではなく、各地区等の目標や活動内容を含め、その部会に特化した内容を協議していただいて、より具体的な活動計画を部会内容として総会に提案していただきたいと考えています。

それでは、各部会の内容を説明します。

まず、農地集積対策部会については、担い手への農地集積・集約化に向けて議論していただくこととなりますが、本市につきましては、ヤミ小作の契約対策として、田は水田台帳で耕作者を確認することができますが、畑については耕作者の把握が困難でありますので、部会委員である農業委員及び農地利用最適化推進委員の意見を聞き、各地区での活動内容を決めていただきたいと思います。

次に、遊休農地解消対策部会については、平成 28 年度に遊休農地の解消指導等の活動は行いましたが、国の指導として、農地に復旧が見込めない土地、例えば農道の崩壊により進入路がない、重機等を活用し解消し

でも耕作者等がおらず、将来耕作が見込めない農地については非農地判断を行い、農地から外していくよう指導されています。今年度は、非農地判断を委員の皆さんに行っていただきますので、その非農地判断を行う時期・区域設定・実施面積などを検討していただきます。

ふたつめとして、遊休農地を解消するために、重点地域の設定・解消面積・戸別訪問の時期などの計画を、検討していただきたいと考えています。

最後に、農業委員会業務対策部会につきましては、新規参入の促進として目標数・活動内容を協議していただきます。しかし、新規就農の促進については、なかなか厳しいところがありますが、新規就農者目標数や活動計画を検討していただきます。また、併せて2点の項目を検討していただきたいと考えています。ひとつめは、現在串間市では農地を取得や貸借契約を申請する場合の下限面積は50アール、都井地区のみ40アールの設定をしています。しかし、この下限面積が他市町村では、農地面積が少なかったり、新規参集の促進を図るなど、地域の現状によって下限面積を30アールだったり、10アールだったりと下げているところがあります。これまで、串間市のスタンスとしては、土地利用型が主流であることから、農業経営に必要な面積を確保するという観点から、これまで下限面積の変更に対する協議を毎年行ってきましたが、これまで変更されてきませんでした。しかし、下限面積の見直しを要望する話も出てきていますので、今回は地域の実情・情報収集を行っていただきながら、部会で検討していただきたいと思っています。

ふたつめは、畑地転換に関する業務についてです。この畑地転換とは、田に盛土を行い、今後は畑として利用するものであります。これまで田として利用されていきましたので、用排水路の機能があることから、畑として利用するために盛土を行うと、その周囲の田の用排水路の機能に支障を及ぼすなどの影響が想定されることから、農業委員会に届出を行っていただき、農業委員の確認の上、届出の受理を行っています。また、50センチの盛土ですむところを2メートルから3メートルの高さにすることで、周辺の田へ影響をおよぼすような事例も出てきていることから、串間市農業委員会として基準策定していきたいと考えています。他の市町村においても基準等がありますので、そこを参考にしながら検討していただきたいと思います。

これまで各部会の説明を行ってきましたが、あくまでも部会は農地利用の最適化業務に関する内容を協議し、目標・活動計画を総会で提案し、皆さんの意見を決定したものをはじめて、農業委員及び農地利用最適化推進委員が指針に沿って活動を行うことになります。

最後に、部会長と副部会長の互選については、農業委員が部会長、農地利用最適化推進委員が副部会長に充てるとうことで提案します。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議長（会長）	<p>ただいま、事務局から説明がありましたとおり、農業委員会法の改正に伴い、特に遊休農地解消と担い手への農地集積活動が義務化されたことにより、このような部会構成にすることでの説明であります。それでは質疑がありましたら出して下さい。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それでは、事務局の説明どおり各専門部会長に農業委員を充て、副部会長に農地利用最適化推進委員を充てることに決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それでは、ただいまより各専門部会に分かれ、部会長の互選をお願いします。 暫時休憩します。</p> <p>（ 各専門部会に分かれ部会長互選中 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き協議を行います。 それでは、各専門部会長の互選について事務局より報告させます。</p>
事務局	<p>それでは、各部会長の互選結果を報告します。 まず、農地集積対策部会長に瀬治山満弘委員、遊休農地解消対策部会長に武田昭一委員、農業委員会業務対策部会長に菊永宏親委員が互選されましたので報告します。</p>
議長（会長）	<p>ただいま、事務局から報告があったとおり各委員を部会長として決定してよろしいでしょうか。 また、副部会長については、農地利用最適化推進委員が午後から互選した者を決定することを事前に承認し、次回総会で報告することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>

議長（会長）	異議なしということですので、農地集積対策部会長に瀬治山満弘委員、遊休農地解消対策部会長に武田昭一委員、農業委員会業務対策部会長に菊永宏親委員の３名を決定し、副部会長は７月定例総会で報告することいたします。
議長（会長）	本日の議案は以上で終了いたしました。
議長（会長）	何か委員の皆さんからございませんか。 なければ、以上を持ちまして第１回農業委員会総会のすべてを終了いたします。
議長（会長）	次の総会は７月３１日（月曜日）を予定いたしております。 議案等につきましては、昼からの研修会で事務局より報告させます。よろしくお願いいたします。

平成 2 9 年 7 月 2 0 日

1 番 (会長)

議事録署名委員

8 番

1 1 番